

科目・コース（ユニット）名： 成長・発達（小児科）
英語名称：Growth and Development (Pediatrics)

【担当責任者】郷 勇人

【連絡先】小児科医局 TEL. 024-547-1295 内線 2382

【開講年次】3 年, 【学期】通年, 【必修／選択】必須

【授業形態】講義、実習

【概要】小児科学は、小児の健全育成を扱う小児保健学・育児学と、疾病の診断と治療を扱う小児病学・小児治療学という2本の柱により構成されている。小児保健学・育児学は、小児の成長・発達を年齢的視点より明らかにし、その健全育成をはかるためのものである。実際には、健康児の発育、栄養、予防医学などを理解し、心身ともに健康な成長をうながすために必要な基本的事項を学習する。一方、小児病学・小児治療学は、病気、異常の面から小児の状態を評価し、対策を立てるものである。小児期は、疾病の年齢的要因、体質・素質などによる発育の個人差が明瞭に認められる時期であるため、これらを踏まえて、小児の一般的主訴または症状について、小児の各年齢の特性を理解し、それら問題解決にあたることができることを目標とする。その扱う疾患は、一般の急性・慢性の疾患、新生児固有の疾患、先天性あるいは遺伝性疾患および身体諸機能の障害、心因性疾患・行動発達の障害である。

【学習目標】

1. 新生児、乳児、幼児、学童および青年期における小児の健康上の問題を、全人的に、かつ家族、地域社会の一員として把握する。
2. 小児の健康保持とその増進および疾病・障害の早期発見とそれらの予防について説明できる。
3. 小児病学各論分野の基本的疾患の概念、病態、臨床症状や鑑別疾患を理解できる。
4. 小児病学各論分野の基本的疾患に対する治療法や予後について説明できる。

【教科書】

標準小児科学（医学書院）

【参考書】

〈小児科学〉

- ・Nelson 小児科学原著第19版（エルザビア・ジャパン）

〈小児血液・悪性腫瘍学〉

- ・Nathan and Oskin's Hematology of Infancy and childhood
- ・Principles and Practice of Pediatric Oncology
- ・小児血液・腫瘍学（診断と治療社）

〈小児感染症〉

- ・Textbook of Pediatric Infectious Diseases 8th edition, ELISEVIER
- ・Red Book 32nd edition American Academy of Pediatrics
- ・日常診療に役立つ小児感染症マニュアル（東京医学社）

〈小児循環器外科〉

- ・先天性心疾患手術書（メジカルビュー社）

〈小児外科〉

- ・標準小児外科学（医学書院）
- ・スタンダード小児外科手術（メジカルビュー社）
- ・スタンダード小児内視鏡手術（メジカルビュー社）

【成績評価方法】

出席日数（2/3 以上）及び筆記試験により総合的に判定される。

【学習上の注意事項】

1. 講義で全ての項目をカバーすることは時間的に不可能であるので、不足分は自学自習する。
2. 授業は単に知識を得ることが目的ではない。主体的に学ぶことにより基本的知識・技術と論理的思考法を習得する。
3. 疾患に苦しむ子供たちを救うための治療・手術に触れて理解する。
4. 授業中・後の質問を大いに歓迎する。

【垂直的統合授業の実施内容】

垂直的統合により、序盤に成長発達総論（小児の解剖・生理、成長・発達）を、その後に成長発達各論（疾患の病態・治療）を講義する。

【水平的統合授業の実施内容】

水平的統合により①正常の成長・発達～神経疾患・発達障害～小児耳鼻科（言語発達、聴力）、②小児腎・泌尿器内科疾患～外科疾患、③小児循環器内科疾患～外科疾患、④新生児・小児疾患～小児外科疾患、⑤小児腫瘍病理～小児血液腫瘍疾患等を講義する。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

- ・新生児肺疾患の病態解明・治療法について
- ・ウイルス性呼吸器疾患の病態解明、予防法、治療法について
- ・脳炎、脳症の病態解明、治療法について

【授業スケジュール】

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	備考
1	4 月 6 日	(月)	4	(講) 発達概論	郷 勇人	
2			5	(講) 小児の生理・解剖	郷 勇人	
3			6	(講) 小児栄養	郷 勇人	
4	4 月 13 日	(月)	4	(講) 小児血液腫瘍	望月一弘	
5			5	(講) 小児血液腫瘍総論	佐野秀樹	
6			6	(講) 小児固形腫瘍	高橋信久	
7	4 月 20 日	(月)	4	(講) 小児腫瘍の病態と特徴	川名 聡	
8			5	(実) 症例観察	川名 聡	
9			6	(講) 症例観察のまとめ	川名 聡	
10	4 月 27 日	(月)	4	(講) 小児精神衛生	鈴木雄一	
11			5	(講) 発達障害 1	鈴木雄一	
12			6	(講) 発達障害 2	鈴木雄一	
13	5 月 12 日	(火)	4	(講) 先天性心疾患総論	青柳良倫	
14	5 月 19 日	(火)	4	(講) 先天性心疾患各論 1	青柳良倫	
15	5 月 26 日	(火)	4	(講) 先天性心疾患各論 2	青柳良倫	
16	6 月 2 日	(火)	4	(講) 腎尿路系の発生と発達 及び構造と機能	久米庸平	
17	6 月 9 日	(火)	4	(講) 慢性腎炎・ネフローゼ	久米庸平	
18	6 月 16 日	(火)	4	(講) 小児外科 1	田中秀明	
19	6 月 23 日	(火)	4	(講) 小児呼吸器	橋本浩一	
20	6 月 30 日	(火)	4	(講) 小児ウイルスの感染症 1	橋本浩一	
21			5	(講) 小児ウイルスの感染症 2	橋本浩一	
22			6	(講) 小児の聴力と言語発達	小川 洋	
23	7 月 6 日	(月)	4	(講) 小児精神行動発達	鈴木雄一	
24			5	(実) 神経系の発達とその評価	鈴木雄一	
25			6	(講) 小児外科 2	田中秀明	
26	9 月 1 日	(火)	4	(講) 新生児学・未熟児学 1	前田 創	
27			5	(講) 新生児学・未熟児学 2	前田 創	
28	9 月 7 日	(月)	4	(講) 小児神経疾患	鈴木雄一	
29	9 月 8 日	(火)	4	(講) 先天性腎尿路奇形	久米庸平	
30			5	(講) 小児膠原病	久米庸平	
31	9 月 14 日	(月)	4	(講) 小児代謝性疾患	久米庸平	
32	9 月 15 日	(火)	4	(講) 小児細菌感染症 1	橋本浩一	
33			5	(講) 小児細菌感染症 2	橋本浩一	

34	10月5日	(月)	4	(講) 小児内分泌疾患 1	久米庸平	
35			5	(講) 小児内分泌疾患 2	久米庸平	
36	10月13日	(火)	4	(講) 小児アレルギー	久米庸平	
37			5	(講) 小児消化器疾患	久米庸平	
38	10月19日	(月)	4	(講) 免疫不全	佐野秀樹	
39	10月20日	(火)	4	(講) 性分化	小島祥敬	
40			5	(講) 疾患の予防	橋本浩一	
41	10月26日	(月)	4	(講) 小児筋疾患	鈴木雄一	
42	10月27日	(火)	4	(講) 染色体異常	郷 勇人	
43			5	(講) 統合講義	郷 勇人	
44	11月2日	(月)	4	(講) 小児心身症	鈴木雄一	
45	11月9日	(月)	4	(講) 小児循環器外科 1	若松大樹	
46	11月16日	(月)	4	(講) 小児循環器外科 2	若松大樹	

【担当教員】

教員氏名	職	所属	連絡先
郷 勇人	教授	小児科学講座	
佐野 秀樹	教授	小児腫瘍内科	
田中 秀明	教授	小児外科	
小島 祥敬	教授	泌尿器科学講座	
小川 洋	教授	耳鼻咽喉科学講座	
橋本 浩一	准教授	小児科学講座	
望月 一弘	准教授	小児腫瘍内科	
若松 大樹	准教授	心臓血管外科学講座	
青柳 良倫	講師	小児科学講座	
高橋 信久	講師	小児腫瘍内科	
前田 創	講師	総合周産期母子医療センター	
鈴木 雄一	学内講師	小児科学講座	
川名 聡	助教	病理病態診断学講座	
久米 庸平	助教	小児科学講座	

【医師として実務経験のある教員による授業科目】

該当する（すべて小児医療の医師として実務経験のある教員が実施する）。